

課題 1 - 1

★ファイル名 : kadai01_1.php

- ① VisualStudioCode（以下、VSCode と記載）を開く。
- ② VSCode の[フォルダを開く]から、「C:¥Sites¥PHP1」を選択する。
※PHP1 フォルダを作成していない場合は、新規作成しましょう。
- ③ VSCode で PHP1 フォルダ配下に、「kadai01_1.php」ファイルを新規作成する。
※今後、課題は同じ手順で新規ファイルを作成してください。
- ④ 下記のコードを記述。例には<?php ?>は記載していませんが忘れないように。
※慣れるためにも、コピペではなく、自分で打ちましょう。

■kadai01_1.php （第 1 段階・未完成）

```
$total;          // 合計額の格納用の変数
$price = 1200;   // 価格を格納した変数
$tax = '1.1';    // 消費税を格納した変数
                // ※ただし、シングルコーテーションで囲んでいるので文字列

$total = $price * $tax;    // 価格×消費税を変数$total に格納

echo $total;            // 画面出力 echo
```

- ⑤ ブラウザで、「http://localhost/」に接続し、Sites の下の PHP1 の下の課題ファイルを開く。
- ⑥ 変数「\$tax」が、何型として認識されているのか、確認しましょう。
変数の型を調べるには「**gettype(\$変数名)**」関数を使っています。
実行結果では、変数「\$tax」の初期化時に、「1.1」とシングルコーテーションで囲っているため、間違いなく string（文字列）型として認識されています。
ただし、中身が「1.1」という数値であるため、計算時に自動的に数値として認識されることにより、計算が可能となっています。（半角のみ。全角数値は文字列として扱われますので、エラーと

なります)

■実行結果 (kadai01_1.php 完成形)

```
string  
1320
```



※便利ですが、これは混乱を招いたり、予期せぬバグの温床となったりするので、このような使い方は控えて下さい。(今回は、PHP の特徴確認のために敢えて記述しています)。数値は何も囲まずそのまま、文字列はシングルクォーテーション、もしくはダブルコーテーションで囲みましょう。(' ' " ") の違いは 3 - 2. 型の章で記載します。)

課題 1 - 2

★ファイル名 : kadai01_2.php

文字列の挙動を確認するため、「課題 1 - 2」を作成しましょう。

(テキストの「3 - 2 - 1. 文字列型」にあるサンプルコードを打ち込んでみる)

■kadai01_2.php

```
$word = 'ECC 太郎';  
  
echo 'こんにちは。 {$word} さん!';  
echo '<br>'; //比較の分かり易さため、改行は分けて記述  
echo "こんにちは。 {$word} さん!";  
echo '<br>';  
  
$quote1 = 'シングルクォーテーション¥t で囲んだ文字列'; // ¥t はタブ  
$quote2 = "ダブルコーテーション¥t で囲んだ文字列";  
  
echo $quote1;  
echo '<br>';  
echo $quote2;
```

■実行結果 (kadai01_2.php 完成形)

こんにちは。 {\$word} さん！
こんにちは。 ECC 太郎 さん！
シングルクォーテーション¥t で囲んだ文字列の表示
ダブルコーテーション で囲んだ文字列の表示

課題 1 – 3

★ファイル名：kadai01_3.php

ゆるやかな比較と厳格な比較を確認するため、「課題 1 – 3」を作成しましょう。

if 文は Java 同様ですので、前期の復習も兼ねて、コーディングしてみましょう。

■kadai01_3.php

```
$num = 1;
$word = '1';

// 変数の中身確認用表示
echo 'num = ', $num, '<br>';
echo 'word = ', $word, '<br><br>';

if($num == $word) {
    echo '==で比較したとき、num と word は等しいです。<br>';
}
else {
    echo '==で比較したとき、num と word は等しくありません。<br>';
}

if($num === $word) {
    echo '===で比較したとき、num と word は等しいです。<br>';
}
else {
    echo '===で比較したとき、num と word は等しくありません。<br>';
}
```

■実行結果（kadai01_3.php）

```
num = 1  
word = 1
```

==で比較したとき、num と word は等しいです。

===で比較したとき、num と word は等しくありません。